



「第9次大槌町総合計画」(案)の 住民説明会・パブリックコメントについて

町は、平成31年度から10年間の計画期間とした「第9次大槌町総合計画」の策定を進めています。今後のまちづくりの総合的な指針となる重要な計画として、計画案の説明および意見を募集するため、以下の通り住民説明会を開催するとともに、パブリックコメントを実施します。

1. 住民説明会

住民説明会では、「第9次大槌町総合計画」の計画案について説明します。右表で示す「日時」、「場所」の通り開催します。なお、お住まいの地域以外の場所でも参加できますので、可能な日程で参加をお願いします。



日 時	場 所
11月11日(日) 10:00～11:00	大槌町役場多目的会議室
11月12日(月) 19:00～20:00	大槌学園体育館
11月13日(火) 19:00～20:00	吉里吉里学園小学部体育館
11月15日(木) 19:00～20:00	赤浜自治会館
11月19日(月) 19:00～20:00	浪板交流促進センター
11月20日(火) 19:00～20:00	金沢支所
11月26日(月) 19:00～20:00	中央公民館 安渡分館
11月30日(金) 19:00～20:00	小鎚多目的集会所

2. パブリックコメント

パブリックコメントとは、町の計画案などを公表し、広く町民のみなさまから意見や情報を募集するものです。計画案などについては、町ホームページに掲載するとともに、下表に示す場所に設置し、回収箱やメールなどで意見を募集します。設置場所にお立ち寄りの上、計画案などの確認および意見の提出をお願いします。

〔実施期間〕 11月10日(土)～12月2日(日)

設置箇所	設 置 場 所
役場・公民館 (9か所)	大槌町役場、中央公民館、安渡分館、赤浜分館、吉里吉里分館、浪板分館(交流促進センター)、渋梨分館(かみよ稲穂館)、金沢分館、長井分館(長井清流館)
集会所 (8か所)	大槌町多目的集会所(大ケ口)、沢山集会所、桜木町保健福祉会館、花輪田集会所、臼沢・寺野地区ふれあい集会所、小枕集会所、蕨打直地区集会所、小鎚地区多目的集会所
仮設住宅集会所 (8か所)	吉里吉里第2仮設集会所、吉里吉里第6仮設集会所、大槌第5仮設集会所、大槌第7仮設集会所、小鎚仮設団地、小鎚第5仮設集会所、小鎚第8仮設集会所、小鎚第12仮設団地

9月20日 子どもたちの安全のために ～大槌商工会女性部が横断旗を寄贈～

9月20日(木)、大槌商工会女性部の方々から、子どもたちが道路を渡るための黄色い横断旗50本が大槌町教育委員会へ寄贈されました。大槌商工会女性部は、商工会員やその配偶者、親族の女性で構成される組織で、地域貢献の一環としてイベントでの出店などの収入をもとに、横断旗を購入し寄贈しました。東日本大震災以前にも、横断旗の寄贈や横断歩道のストップマークの設置など、子どもの安全確保のための活動を行っていましたが、震災後は今回の寄贈が初めてとなります。この横断旗は、大槌学園、吉里吉里学園の子どもたちの交通安全のため、通学路の横断歩道などに設置されます。



10月5日 子育ての苦勞と喜びを ～思春期ふれあい体験学習～

乳児とのふれあいなどを通じ命の尊さや妊娠などへの正しい知識を学び、親への感謝の気持ちや、愛情に気づきかけづくりを目的として、10月5日(金)、吉里吉里学園の9年生が思春期ふれあい体験学習に参加し、乳児とのふれあい体験を行いました。生徒たちは、乳児を抱っこしたり、おむつ替えや本の読み聞かせをしたりと、実際に赤ちゃんを相手に学習しました。慣れない作業に戸惑いながらも「かわいい」と笑顔を見せながら、懸命に取り組み、保護者へのインタビューでは、大変な事や、自分たちも同じように手をかけて育てられたことなどについて話を聞き、子育ての苦勞や喜びについて理解を深めました。



10月17日 大槌町幼年消防フェスティバルが開催

幼年期の防火・防災意識の高揚を図るため、幼年消防クラブの子どもたちと、大槌消防署など関係機関が交流する「幼年消防フェスティバル」が10月17日(水)、大槌消防署で開かれました。会場には町内の保育園、こども園、幼稚園の園児たちが半纏姿で集まりました。消防体験では、煙の体験や放水訓練、はしご車体験が行われ、初めての体験に驚きながら、防災の心構えや命の大切さについて学びました。参加した園児からは「煙で周りが見えなかった」「ホースがずっしり重かった」などの感想が聞かれ、「消防士になりたい」と目を輝かせる園児も多かったです。



10月21日 復興進むふるさとの景色に涙 ～ふるさと大槌会2018～

10月21日(日)、東京都内のホテルを会場に、ふるさと大槌会2018が開催され、関東圏に住む大槌町出身者や大槌にゆかりのある人々が集まりました。昨年30周年を迎えたこの会では、大槌町への支援や、大槌学園・吉里吉里学園の生徒児童との交流



など、長い間ふるさと大槌と強いつながりを持って活動していただいています。今年度は、平野町長が現在の町の復興の様子を説明し、ドローンで撮影した町全体の様子が上映されました。震災直後から現在へと移り変わる映像に、会場には涙を拭う姿も見られました。また、会場には先日、三陸♡おおつちPR大使に就任した「みち乃く兄弟」の二人が駆けつけ、ふるさと大槌を唄った新曲「帰郷」を披露し、会場を盛り上げました。